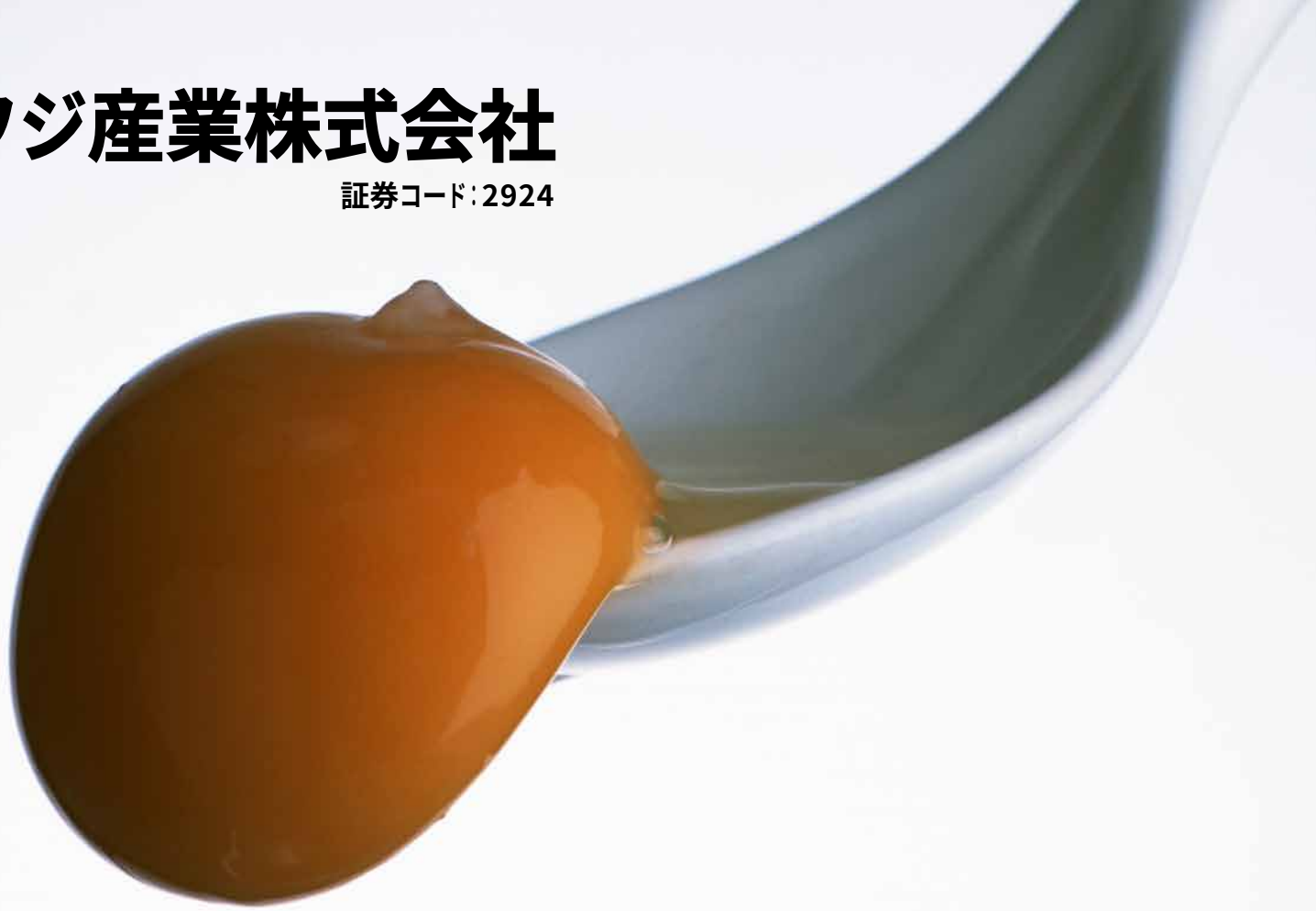
イフジ産業株式会社

証券コード：2924



個人投資家向け会社説明会資料

会　社　概　要

会 社 概 要

■ 会 社 名	イフジ産業株式会社
■ 事業内容	・鶏卵関連事業(液卵・冷凍卵の製造・販売) ・調味料関連事業(業務用粉末・顆粒調味料の製造・販売) ・その他(太陽光発電事業)
■ 設　立	1972年 (昭和47年) 10月
■ 本社所在地	福岡県糟屋郡粕屋町戸原東二丁目1番29号
■ 従業員数	499名 (イフジ産業440名、日本化工食品59名) ※臨時従業員含む:2019年3月末現在
■ 代表取締役	藤井 宗徳
■ 資本金	455百万円
■ 発行済株式数	8,345,370株 (2019年3月末時点)
■ 単元株式数	100株
■ 上場取引所	東京証券取引所　市場第一部 福岡証券取引所　本則市場
■ 証券コード	2924
■ グループ会社	日本化工食品株式会社

経営理念

事業の内容　【鶏卵関連事業】

原料調達 → イフジ産業 → 得意先

原料調達

養鶏場

※画像はイメージ

イフジ産業

割卵・殺菌・充填

液卵・冷凍卵

ボイル
脱　殻
殺　菌

ゆで卵

得意先

製菓・製パンメーカー
マヨネーズメーカー
総菜メーカー　など

※画像はイメージ

事業の内容　【調味料関連事業】

原料調達 → 日本化工食品 → 得意先

原料調達

※画像はイメージ

日本化工食品

造粒加工

焙煎加工

粉末加工

ブレンド

業務用粉体調味料・顆粒調味料

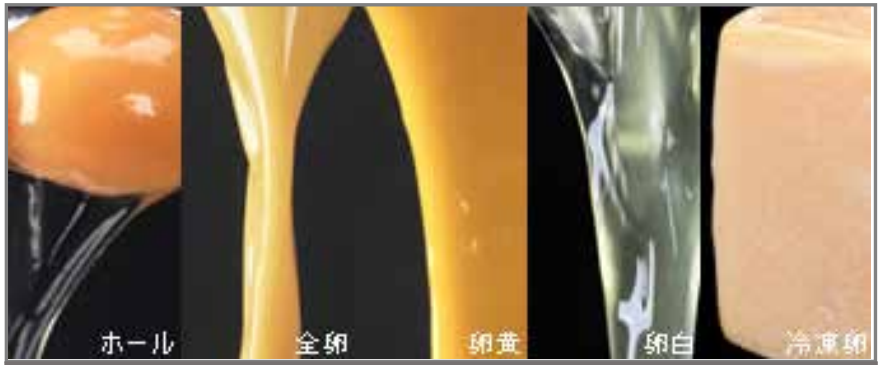
※2009年　日本化工食品(株)の全株式を取得(M＆A)を行い、調味料業界へ進出。

得意先

即席麺メーカー
スナックメーカー
ふりかけメーカー
など

※画像はイメージ

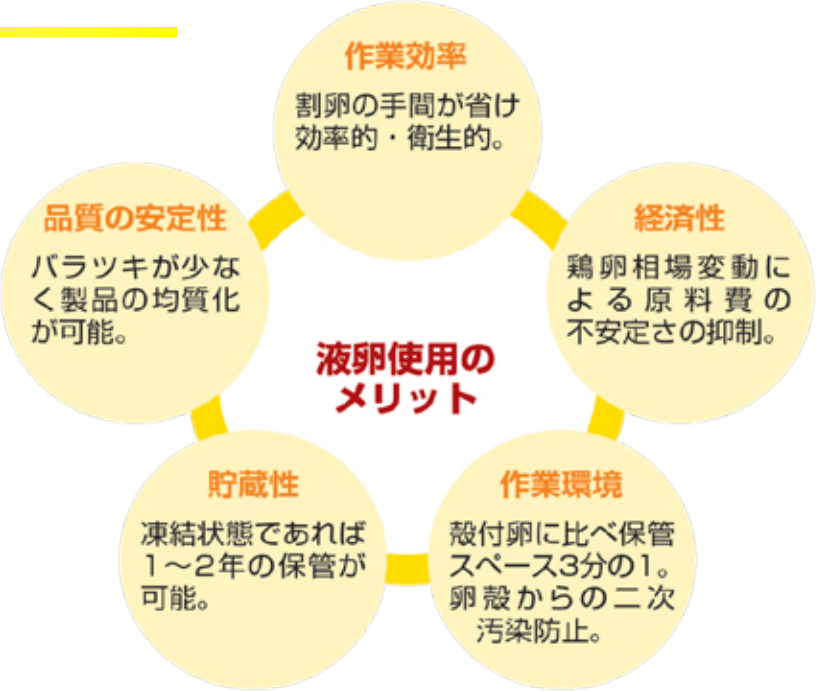
液卵とは・・・？



液卵とは・・・？

液卵とは鶏卵を割って中身を取り出したものであり、基本的には液状の形態をしています。

当社では全国の養鶏場から卵を仕入、お客様の用途に合わせて、様々な方法による殺菌や卵黄・卵白の分離等を行っております。



液卵・冷凍卵の種類・用途

品　種	種　別	主　な　用　途
全　卵	ホール	ケーキ、洋菓子、和菓子
	全卵	パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ
	加糖全卵	ケーキ、洋菓子
卵　黄	卵黄	洋菓子、和菓子
	加糖卵黄	洋菓子、和菓子
	加塩卵黄	マヨネーズ
卵　白	卵白	練製品、洋菓子、和菓子
	製菓用卵白	洋菓子、和菓子

事業部ネットワーク

全国４工場のネットワークで
全国へ液卵の安定供給を可能に！！

大消費地に隣接したお客様重視の
工場立地は市場開拓の大きな
アドバンテージ。

関西事業部（京都府･井手町）

販売数量
約13,018ｔ

太陽光発電量
32.0万kWh

関東事業部（茨城県･水戸市）

販売数量
約22,803ｔ

太陽光発電量
29.2万kWh

福岡事業部（福岡県･粕屋町）

販売数量
約10,775ｔ

日本化工食品 千葉工場（千葉県･市原市）

太陽光発電量
2.7万kWh

名古屋事業部（愛知県･安城市）

販売数量
約7,453ｔ

2019年3月期都道府県別販売実績
（商社等経由での供給先も含む）

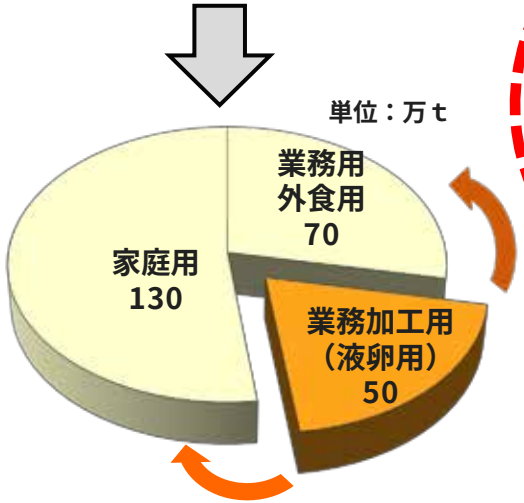
2019年3月期	
500百万円以上	
100百万円以上	
50百万円以上	
10百万円以上	
3百万円以上	
0百万円以上	
0百万円未満	

※販売数量(イフジ産業単体)、発電量は2019年3月期実績による

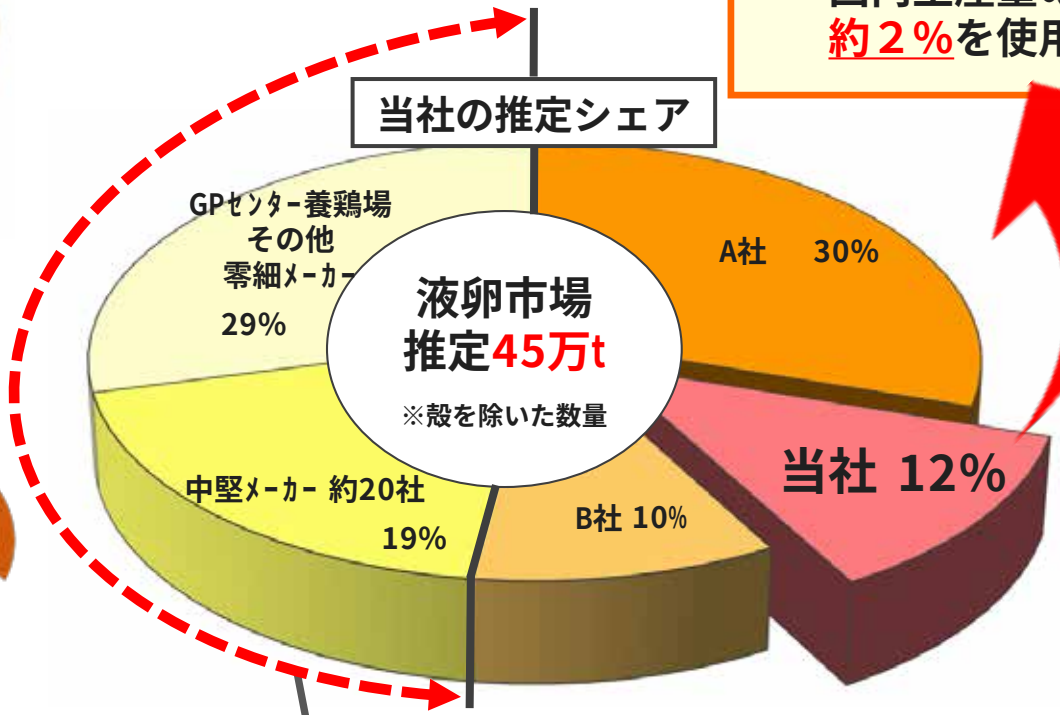
液卵業界推定シェア

国内
鶏卵生産量
約250万t
自給率約96%

輸入卵
輸入粉末卵約12万ｔ
※殻付き換算



当社の推定シェア



当　社
鶏卵使用量
約５.６万 t(10億個)
国内生産量の
約２%を使用

液卵マーケットの拡大

・単身世帯の増加
・高齢化社会の進展
・女性の社会進出
・人手不足

コンビニ、中食需要の拡大、
飲食店での液卵使用の拡大により
液卵市場も今後拡大

業界の再編・淘汰

中小零細の淘汰・大型生産者への集約
養鶏業者：3,600戸(2006年)→2,200戸(2018年)
※養鶏業者数は農林水産省の畜産統計「採卵鶏飼養戸数」より

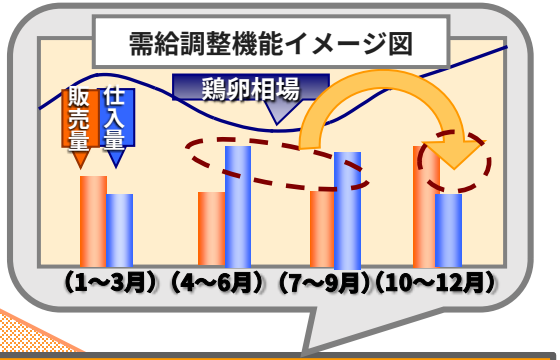
※　液卵市場規模及びシェアは(社)日本卵業協会製作の「鶏卵及び鶏卵加工品流通実態調査報告書」を基に当社が推定したもの。

今後の事業展開

イフジ産業株式会社

営業：マーケットの拡大

・市場(業界)の特性にあわせた販売強化
・顧客ニーズを取り込んだ提案
・食のインフラの構築



製造：安全･安心な製品を安定供給

・６Ｓ活動の徹底
(整理･整頓･清掃･清潔･しつけ･節約)
・自動化・省力化
・食品安全マネジメントシステムの導入
・人員配置の最適化
・卵殻のリサイクル
(Green Techno 21との取組み)

購買：仕入システムの多様化

・格外卵の調達
・需給調整機能の発揮
・安定供給の為の必要量確保
(委託生産の拡大)
・輸入品の取り扱い
仕入ｼｽﾃﾑの多様化による鳥ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞのﾘｽｸを回避

国内においても
持続的に成長可能

太陽光発電事業

工場の屋根に太陽光パネル設置
・イフジ産業(2019年3月期実績)
関西工場 32.0万kWh
関東工場 29.2万kWh
・日本化工食品(2019年3月期実績)
千葉工場 2.7万kWh

管理：１人当たりの生産性向上

・人材育成、コミュニケーション強化、モチベーション向上
・働き方改革対応、健康経営の取り組み

M&A

・Ｍ＆Ａ
業界の再編。同業他社。

トピックス

食品安全マネジメントシステムの取得

▲イフジ産業　関東工場

▲日本化工食品　千葉工場

イフジ産業の主力工場である関東工場にて食品安全マネジメントシステムの国際規格である FSSC22000の認証を取得いたしました。
　また、日本化工食品 千葉工場にてFSSC22000およびISO22000の認証を取得いたしました。

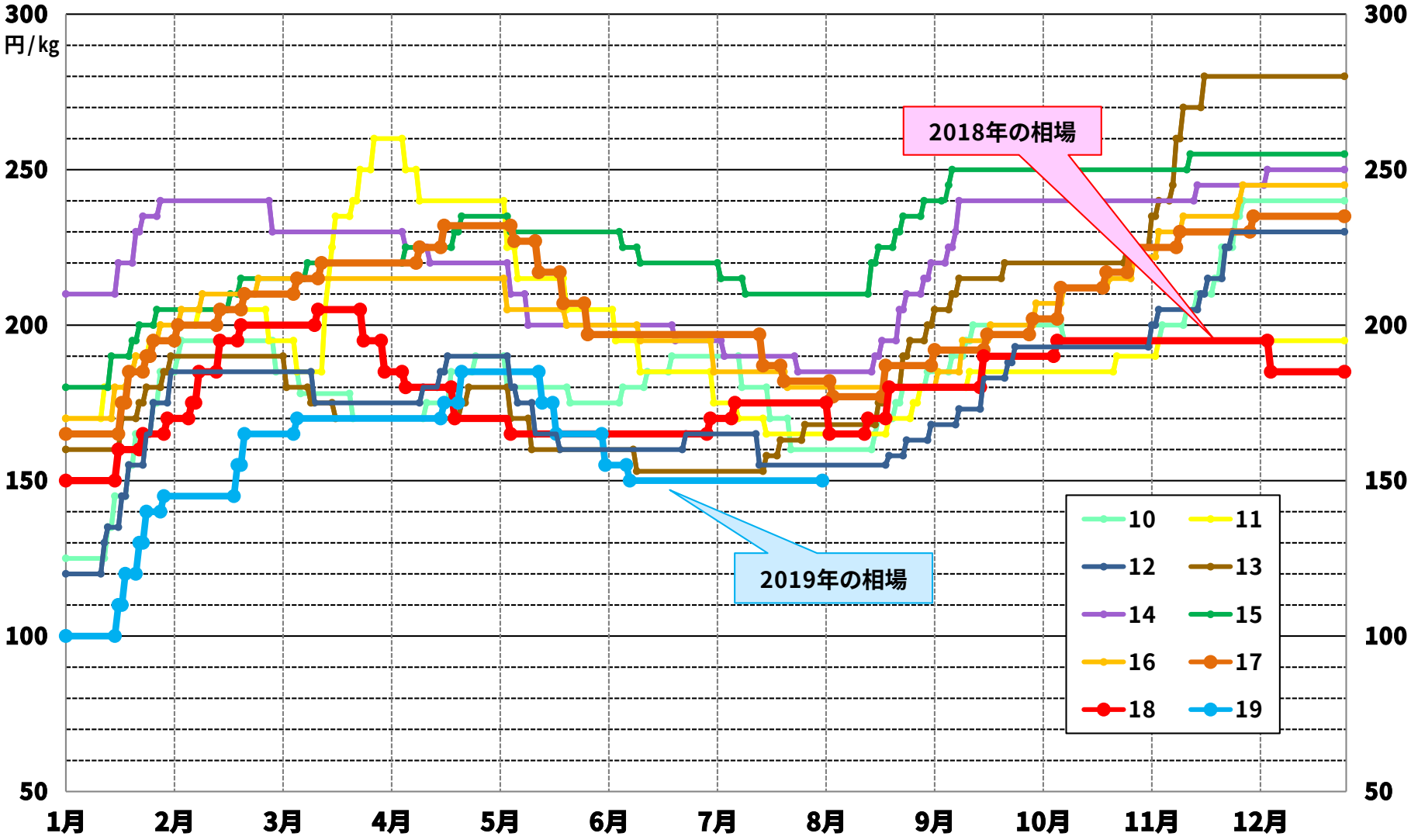
大型自動充填機の設置

関東事業部に従来の約2.5倍の処理能力を持つ最新の大型自動充填機を設置。
　今後も生産設備や生産ライン等の見直しを行い、品質、生産効率の向上に努めてまいります。

決算の概要・見通し

鶏卵相場の推移（東京M基準値）

イフジ産業株式会社



＜鶏卵関連事業＞
製品販売単価及び原料仕入単価は鶏卵相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は製品販売単価、原料仕入単価はともに増加し、鶏卵相場が低く推移した場合は製品販売単価、原料仕入単価はともに減少する傾向にあります。

2019年3月期通期業績(連結)

イフジ産業株式会社

（単位：百万円）

	2018年３月期（連結）	2019年３月期（連結）	前年同期比	当初予想	当初予想比
販売数量（鶏卵関連事業）	51,538ｔ	54,049ｔ	＋4.9%		
売上高	14,396	13,711	△4.8%	14,227	△3.6%
売上原価	11,993	11,057	△7.8%		
売上総利益	2,402	2,654	＋10.5%		
販売・管理費	1,709	1,848	＋8.1%		
営業利益	693	806	＋16.3%	730	＋10.4%
経常利益	710	828	＋16.7%	737	＋12.4%
特別利益	※ 122	14	△87.9%		
親会社株主に帰属する当期純利益	555	552	△0.6%	492	＋12.1%
１株当たり利益（円）	66.67	66.28	△0.6%	59.14	＋12.1%

※特別利益　主に関東事業部の工場増設に係る補助金

- 鶏卵相場は前年に比べ約15.3%低く推移。
- 営業利益、経常利益は前年同期を5期連続で上回った。

■セグメント別売上高

（単位：百万円）
※ｾｸﾞﾒﾝﾄ間売上含む

セグメント別	2018年3月期	2019年3月期	増減比
鶏卵関連事業	13,245	12,502	△5.6%
調味料関連事業	1,171	1,234	＋5.4%
その他	25	25	＋1.0%

■セグメント別利益

（単位：百万円）

セグメント別	2018年3月期	2019年3月期	増減比
鶏卵関連事業	634	745	＋17.5%
調味料関連事業	48	47	△0.3%
その他	10	12	＋21.7%

＜鶏卵関連事業＞
販売数量　前期比4.9%増
⇒製菓・製パンメーカーへの販売が好調
売上高　前期比5.6%減
⇒鶏卵相場が前期比約15.3%低く推移
ｾｸﾞﾒﾝﾄ利益　前期比17.5%増

＜調味料関連事業＞
売上高　前期比5.4%増
⇒取引先の新商品やリニューアル品に原料が採用
ｾｸﾞﾒﾝﾄ利益　前期比0.3%減

2020年3月期通期業績の見通し(連結)

（単位：百万円未満切捨て）

	2020年3月期 見通し		2019年 3月期	前年同期比
販売数量（鶏卵関連事業）	55,816	（t）	54,049	＋3.3%
売上高	13,617	百万円	13,711	△0.7%
営業利益	829	百万円	806	＋2.8%
経常利益	840	百万円	828	＋1.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	561	百万円	552	＋1.7%

親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を見込む。
営業利益・経常増益は6期連続で前年を上回ると予想。

鶏卵関連事業において、鶏卵相場は2019年3月期より低く推移すると予想。

販売数量は、55,816ｔを予想。
7年連続で過去最高の販売数量を更新する見込み。

■売上

＜鶏卵関連事業＞
- 販売数量3.3%増を目指す
- 中品種中量製品の提案
- 市場(業界)の特性にあわせた提案力の強化

＜調味料関連事業＞
- 顧客ごとの分析を徹底
- 既存顧客の新規商品獲得を目指す
- 自社既存品・主流商品の拡販
- グループ内での委託加工による販売強化（シナジー）

■損益

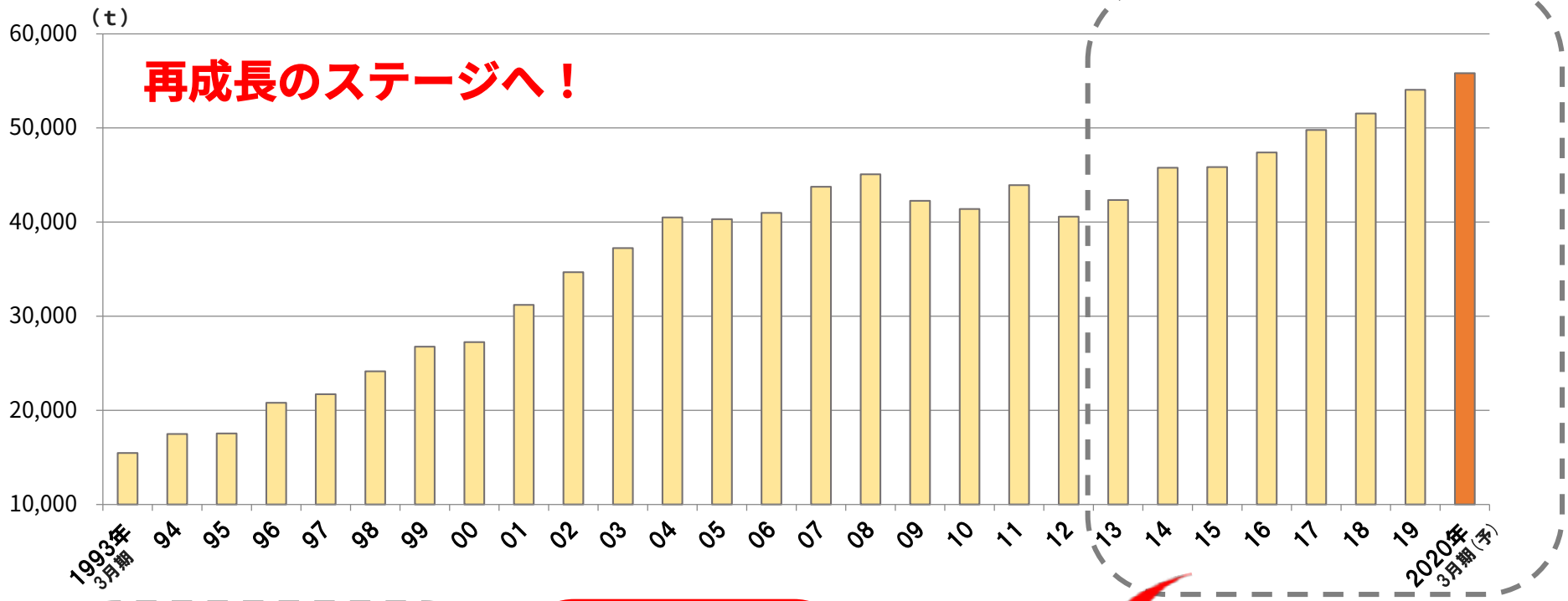
＜鶏卵関連事業＞
- 顧客ニーズに沿った付加価値のある製品の販売による粗利の確保
- 定期格外卵の調達・需給調整機能の発揮・委託生産による原料調達の安定化

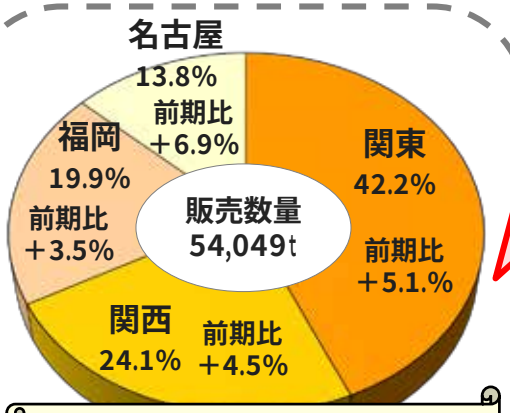
＜調味料関連事業＞
- 原料情報の把握と生産効率向上によるコスト削減推進
- 市況を見極め、柔軟な価格改定

＜太陽光発電事業＞
- 安定した利益の確保

販売数量の推移【イフジ産業(株)単体】

イフジ産業株式会社



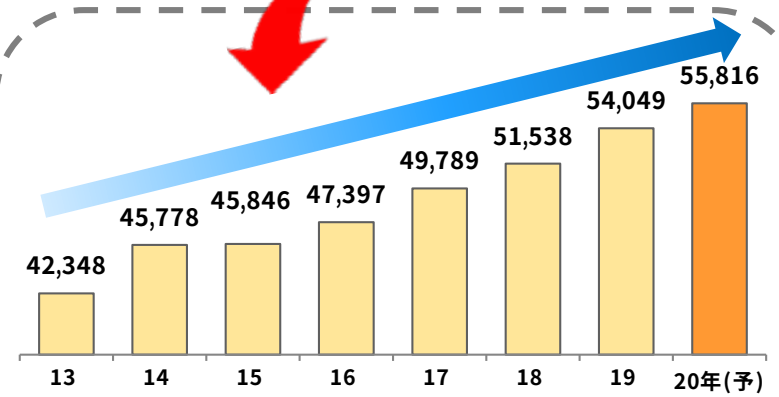


事業部別販売数量構成比
(2019年3月期)

主要販売先である製菓・製パンメーカー向けへの販売が堅調に推移。

販売数量は6期連続で過去最高を更新。

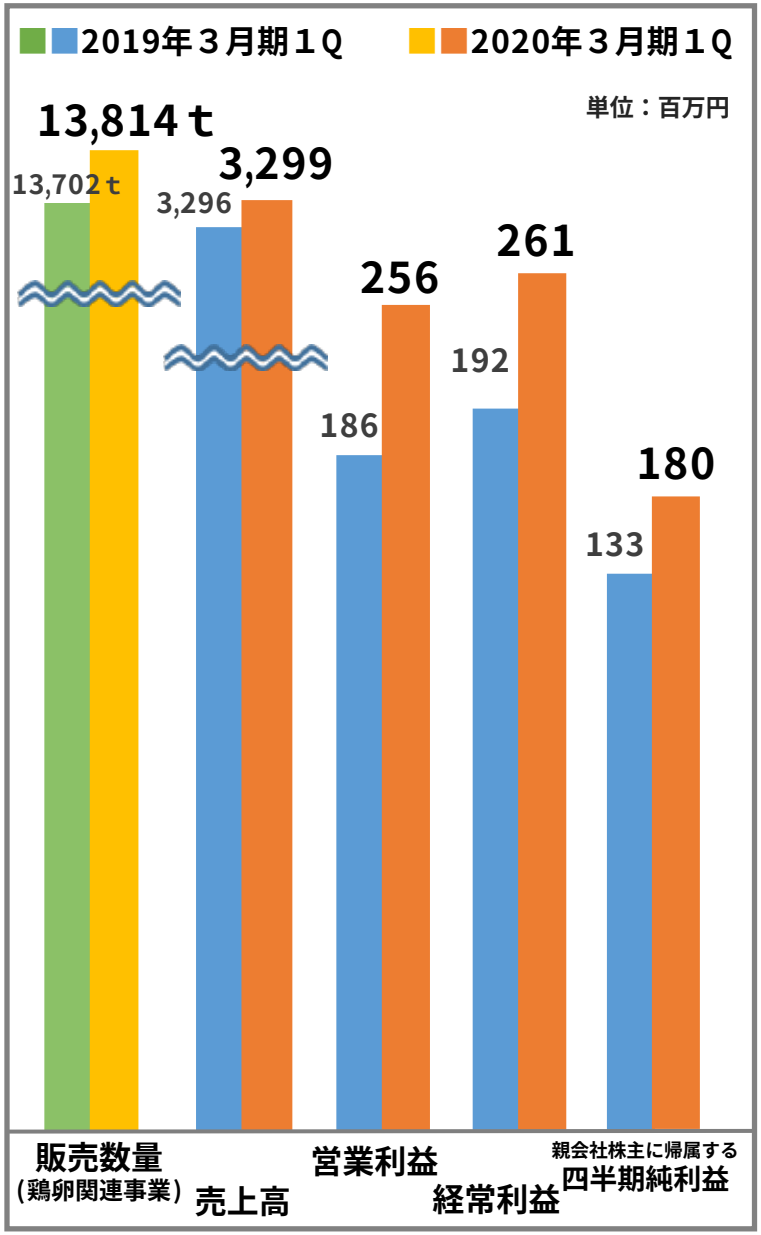
前期と比べ、すべての事業部で販売数量が増加。



2020年3月期も7年連続で過去最高の販売数量を更新する見込み。

2020年3月期第１四半期の概要(連結)

イフジ産業株式会社



販売数量、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期連結累計期間における過去最高を記録。
また、売上高は前年同期を上回った。

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	
販売数量(ｔ)【鶏卵関連事業】	13,702	13,814	+0.8%
売 上 高	3,296	3,299	+0.1%
営業利益	186	256	+37.3%
経常利益	192	261	+35.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	133	180	+35.6%

単位：百万円	鶏卵関連事業	調味料関連事業	その他(太陽光発電)
セグメント別売上高	3,029	276	7
セグメント別利益	242	9	4

最近の業績の推移(連結)

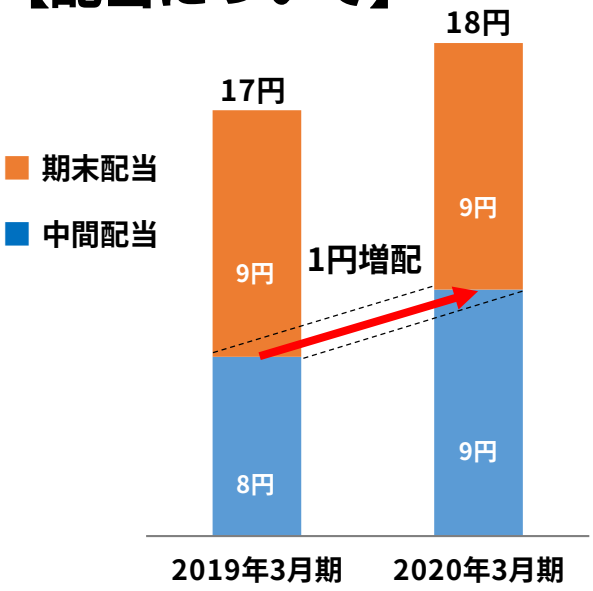
	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期(予想)
販売数量(t)鶏卵関連事業	40,575	42,348	45,778	45,846	47,397	49,789	51,538	54,049	55,816
売上高(百万円)	10,807	10,657	12,650	13,130	14,478	14,248	14,396	13,711	13,617
営業利益(百万円)	809	786	337	517	642	663	693	806	829
経常利益(百万円)	817	825	365	531	665	681	710	828	840
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	433	532	※1 235	※2 388	434	533	555	552	561
1株当たり利益(円)	※ 52.02	※ 63.93	28.30	46.58	52.21	64.04	66.67	66.28	67.42
ROE(自己資本当期純利益率)	13.6%	15.0%	6.3%	9.8%	10.2%	11.5%	10.9%	10.0%	―
1株当たり配当金(円)	※ 14.6	※ 16.6	16	11	15	(記念配当1円を含む) 17	16	17	18
配当性向	※ 28.2%	※ 26.1%	56.5%	23.6%	28.7%	26.5%	24.0%	25.6%	26.7%
配当利回り	4.5%	3.2%	3.0%	2.0%	2.7%	1.9%	2.0%	2.4%	―

※ 2013年に1:1.5株の株式分割を実施。
1株当たり利益は株式分割(1:1.5)遡及後、配当性向は分割前の数値で記載。1株当たり配当金は株式分割を考慮した数値記載。

- 2014年3月期 ※1 鶏卵相場の急騰による割高な当用買いで材料費が増加。販売価格の改定を実施も追いつかず減益。
- 2015年3月期以降 ※2 前年度下期から販売価格の改定や原料調達の安定化に努め、収益の安定化を図る取り組みを開始。
- 2018年3月期 販売数量は初めて5万tを突破。
  親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高を達成。
- 2020年3月期(予想) 2020年3月期は2019年3月期の販売数量を超え、7期連続で過去最高となる見込み。
  鶏卵相場は2019年3月期より低く推移すると予想。

2020年3月期　配当･株主優待について

【配当について】



＜配当方針＞

株主の皆様に対する利益還元策として、
連結ベースで**配当性向25～30%**を目標としております。

＜2020年３月期の配当計画＞

1円増配となる１株当たり **18円**(中間9円、期末9円)を 計画。

※2019年3月期は１株当たり17円の配当を実施。　（中間配当 8円　期末配当 9円）

【株主優待について】

全国たまご商業協同組合発行の「たまごギフト券」を、毎年9月30日、3月31日現在の株主様を対象に右記の基準で贈呈。

「たまごギフト券」については全国たまご商業協同組合のホームページに詳しい説明があります。

全国たまご商業協同組合　http://www.tamagoken.or.jp/

	9月末日	3月末日
100株以上～ 1,000株未満の株主様	300円分 （100円×3枚）	300円分 （100円×3枚）
1,000株以上の株主様	1,200円分 （100円×12枚）	1,200円分 （100円×12枚）

業績予想に関する事項

　この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それはいずれも、資料作成時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものであります。
　その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、万が一、この資料を利用した結果被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負いませんのでご承知おきください。

ご清聴ありがとうございました。

イフジ産業株式会社